

レンジフード取付説明書

取扱説明書 取付説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

安全上のご注意

● 取付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取付けをおこなってください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取付け、あつたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと対応の程度を示すために、誤った取扱いをすることで発生する危険な内容が「警告」「注意」の2つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告: 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
注意: 人が傷害を負う可能性及び物の損害のみの発生が想定される内容。
お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例
● 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告

● 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● アースを確実に取り付けること
● 自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口(給気口)により十分給気される配慮をする
● 排気工事をされる場合は建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● レンジフードは、薄板の金属部(壁内ラス網など)と接触しないよう取り付けること

● 交流100V以外では使用しないこと
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること
● 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
● レンジフードの壁への埋め込みはしないこと

● 取付けの際は、必ず厚手の手袋をすること
● 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること
● 鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります
● 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと
● 火災・故障の原因になります

注意

● 運転中は指や物を絶対に入れないこと
● レンジフードの取付けは十分強度のあるところを選んで確実に取付けること
● 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと

取り付け上のお願い

● 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。
● 大工工事(設置のための下地工事等)
● 配線工事(コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等)
● 管工事(ダクト配管及びレンジフードからのダクト接続等)
流通業者(販売店)を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別してご確認ください。

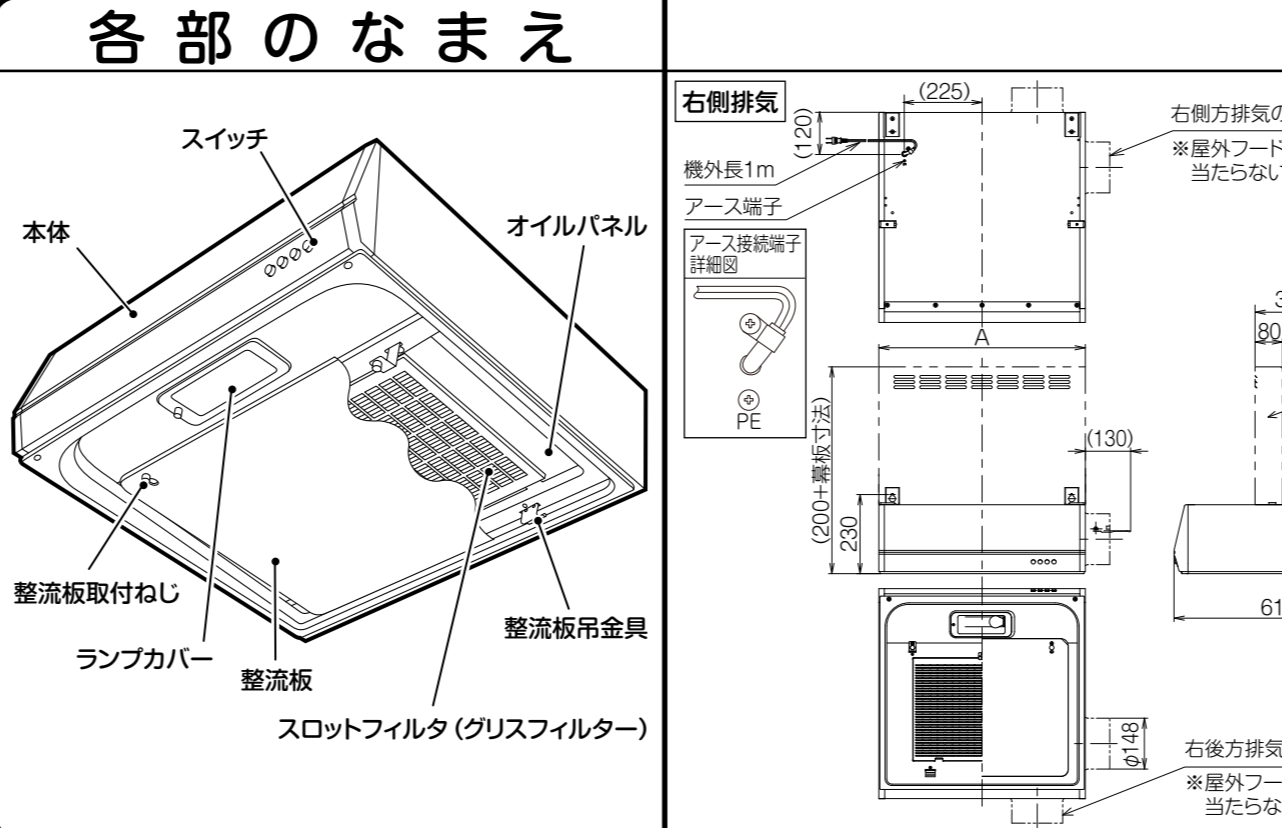
● 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。
● 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。
● 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいじめるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。
● レンジフード取付面の補強部に、取付用ねじが確実に届くことを確認してください。本体の取付用ねじは、45mmの長さのものと同様に届いていない場合は、石膏ボード等の厚さが足りない場合は、壁下に石膏ボード等を貼られていない場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。
● レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取付けないでください。また、横方向50cm以上離して取付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。
● 建物が密閉されている場合は、油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。

● 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は400m/h時50Pa以下のものをご使用ください。防雨補付材は必ずご用意ください。排気効率が低下する場合がありますのでご使用しないでください。
● ダクトの不燃処理について
● 製品は調理機器の真上に取付けてください。なお、製品取付高さは、製品の下端が調理機器の真上80cm以上になるようにしてください。
● 寒い地域ではダクトが結露し本体内部に結露水が流れる場合がありますので断熱材を巻くなどの対応をしてください。

● 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。
● 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。
● 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいじめるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。
● レンジフード取付面の補強部に、取付用ねじが確実に届くことを確認してください。本体の取付用ねじは、45mmの長さのものと同様に届いていない場合は、石膏ボード等の厚さが足りない場合は、壁下に石膏ボード等を貼られていない場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。
● レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取付けないでください。また、横方向50cm以上離して取付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。
● 建物が密閉されている場合は、油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。

● 寒い地域ではダクトが結露し本体内部に結露水が流れる場合がありますので断熱材を巻くなどの対応をしてください。

各部のなまえ



取り付け前の調査と準備

警告
● 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● レンジフードは、薄板の金属部(壁内ラス網など)と接触しないよう取り付けること
● 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと

注意

● レンジフードの取付けは十分強度のあるところを選んで確実に取付けること
● 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと

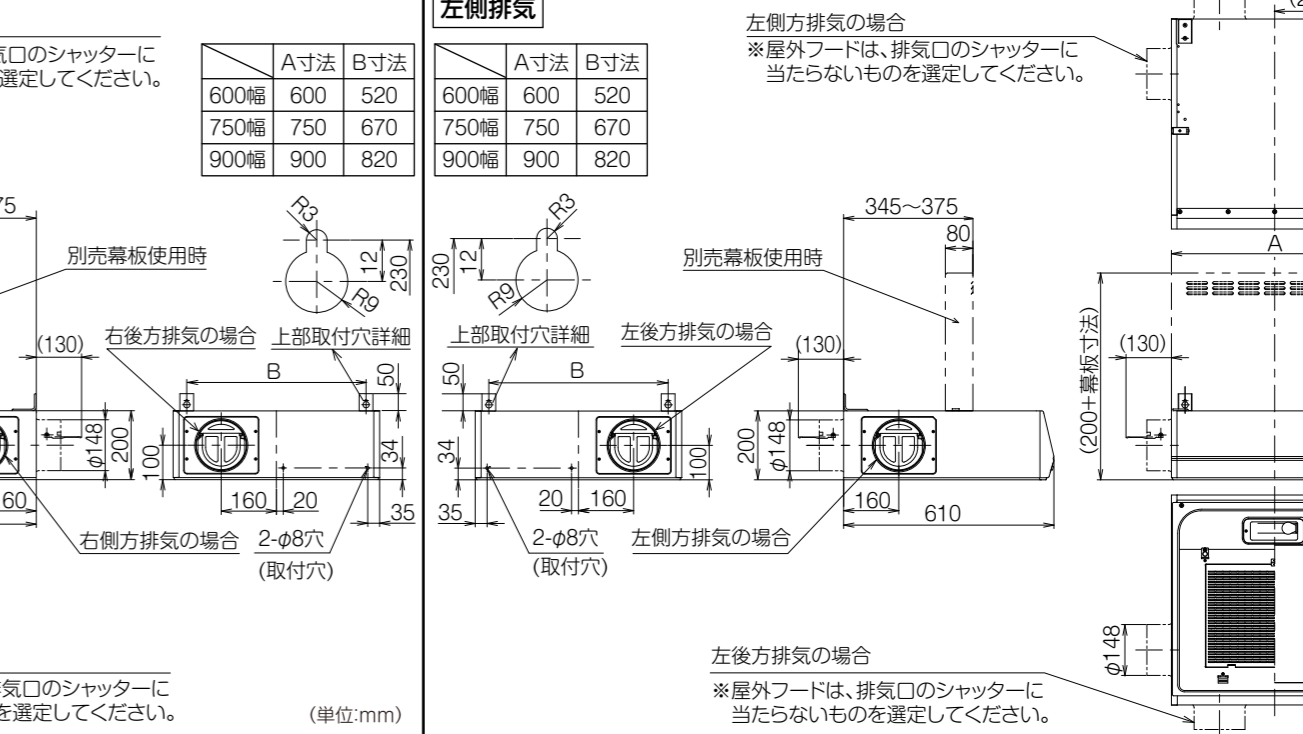
1. 取付面の強度確認
● 製品を支える強さが必要です。
● 製品質量 15.0kg
● 750幅 製品質量 17.0kg
● 900幅 製品質量 19.0kg

2. 別売品の準備
● 排気工事に伴った別売品の準備が事前に必要です。

3. 標準取付寸法
● 本製品の標準取付寸法は調理機器の上面から製品の下端まで80cm以上です。
● ※火災予防条例では、グリルフィルターの下端が調理機器の真上80cm以上必要となっています。

4. 電源コンセント・ブレーカー
● 電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。(交流・単相 100V) コンセントは、JIS C 8303 2極差込接続器(15A125V)をご使用ください。
● (お願い) 必ずアース(D種接地工事)をしてください。レンジフードが誤作動することがあります。

製品寸法図

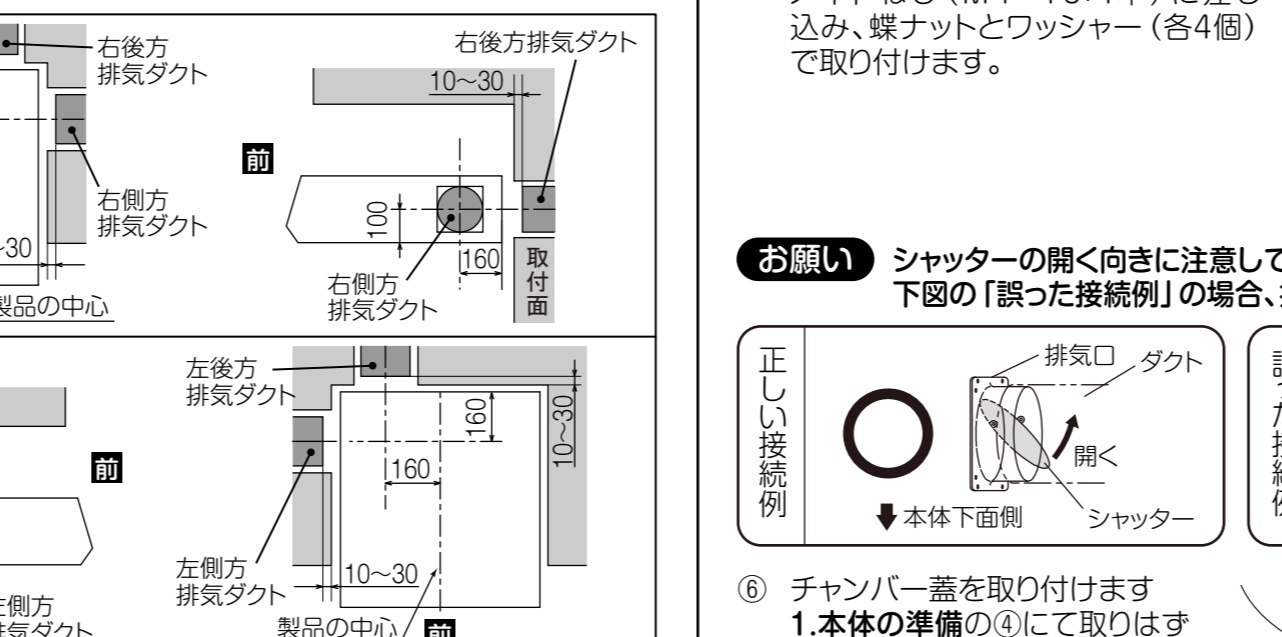


取り付けかた

2.排気方向の決定

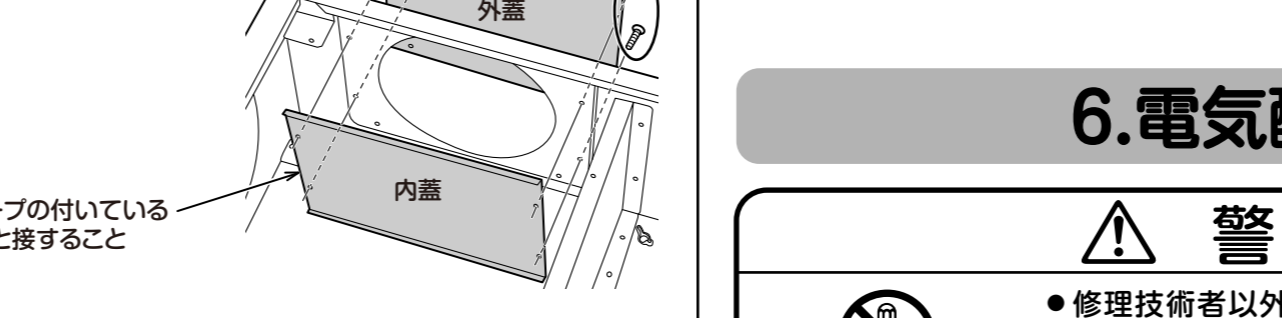
警告
● メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること
● 排気工事をされる場合は建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと

1. 製品寸法図を参照し、事前に管工事業者(法的有資格者)へ壁穴の開口を依頼してください。また、コンセントの位置を確認してください。
2. φ150のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを下図のようにセットし、周囲を仕上げます。(コンクリート、タイル、土壁の場合)



3.排気用部品の準備

1. ソフトテープを排気口に貼り付けます。
2. 補強板を取り付けます
3. 内蓋と外蓋を取り付けます



4.本体の取り付け

1. 吊金具2個を取り付けます
2. だるま穴用座付ねじ2本を壁面にねじ込みます
3. だるま穴用座付ねじ(左右各1ヶ所)に座付ねじ(φ5.1×45)を壁面とのすきま5mmまで締め付けます

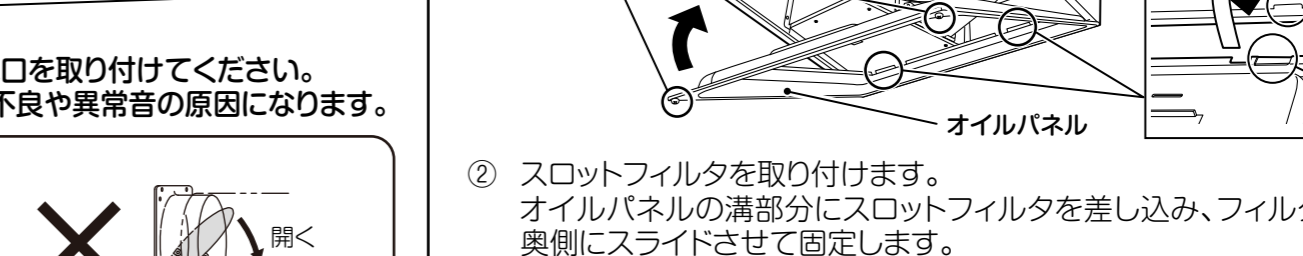


1.本体の準備

1. 整流板をはずします
2. スロットフィルタをはずします
3. オイルパネルをはずします
4. チャンバー蓋をはずします

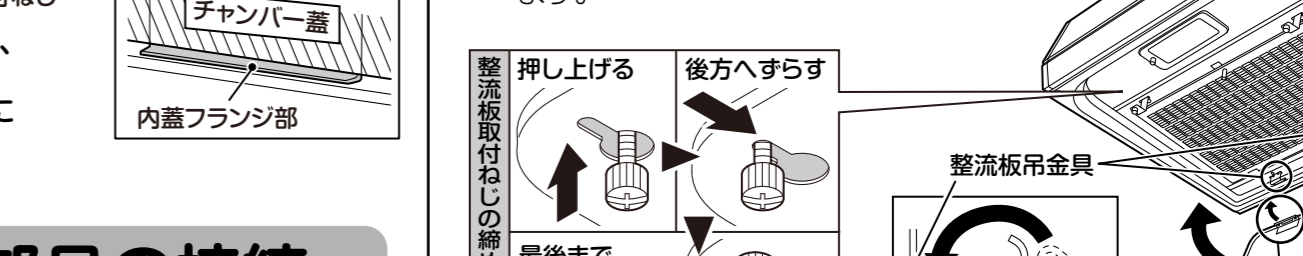
5.ダクトと排気用部品の接続

排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとする、排気口と排気口の設置面が変形し、排気漏れが発生してしまう場合があります。排気漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転(強運転)をおこなってください。漏風する場合は、排気口と設置面の周りをアルミテープ等(現地手配)で漏風防止措置をおこなってください。



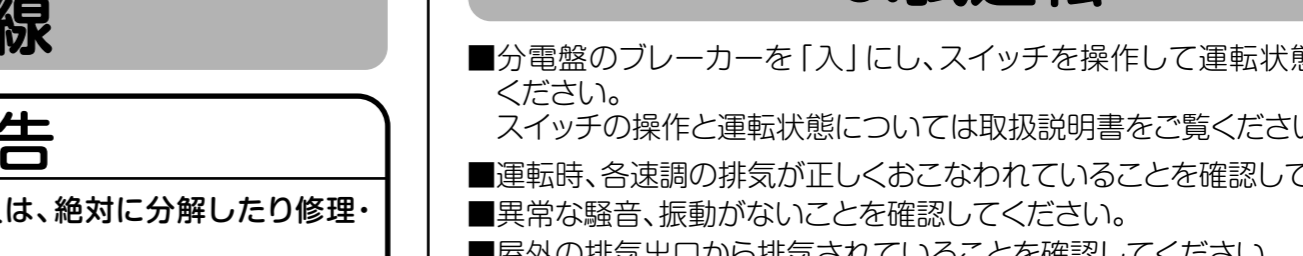
7.幕板を取り付ける場合

1. オイルパネルを取り付けます
2. スロットフィルタを取り付けます
3. 整流板を取り付けます



8.組み立て

1. オイルパネルを取り付けます
2. スロットフィルタを取り付けます
3. 整流板を取り付けます



9.試運転

● 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。
● スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
● 運転時、各速調の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
● 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
● 屋外の排気出口から排気されていることを確認してください。
● 取付けまたは各種工事に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますのでご注意ください。

10.お客様への説明

● 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
● 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。
製造元: -FUJIOH- 富士工業株式会社
〒252-0206 相模原市中央区湖野2丁目1番9号
TEL 042 (768) 3754 (営業部)

付属品 (本体内部に同梱)

品名	略図	用途	品名	略図	用途
座付ねじ(φ5.1×45)		本体の取り付けに使用します。	蝶ナット		排気口の取り付けに使用します。
ラムメイトねじ(M4×8)		内蓋・外蓋の取り付けに使用します。	ソフトテープ		排気口とダクトのすきまをふさぐのに使用します。
ラムメイトねじ(M4×16)		排気口の取り付けに使用します。	補強板		本体と排気口の接続に使用します。
吊金具		本体の取り付けに使用します。	外蓋		排気穴をふさぐのに使用します。
排気口		本体とダクトの接続に使用します。逆風防止シャッター付です。	内蓋		排気穴をふさぐのに使用します。